

## 数学(選択科目)

## 全学統一方式(文系)、学部個別配点方式(文系型)

(出題内容・形式・配点) ※出題内容、問題番号、配点は2月1日実施分のもので。

内容	形式	配点	試験時間
I 3次関数の応用、図形と計量、数列	記述	40	80分
II 確率・対数・微分	記述	30	
III 確率・漸化式	記述	30	
合計		100	

### 【出題の基本方針】

高校数学における数学Ⅰ、数学A、数学Ⅱ、数学B(ベクトルと数列)の学習指導要領の範囲内において、受験生の基礎知識の習得を確認すると共に、その基礎知識を応用する力、論理的な思考能力、そして文章を読み取り、その状況を数学を用いて表現する力をみる問題を出題した。公式をそのまま使って解くような基本問題は最小限にとどめ、解答に工夫が求められる応用問題を中心に、数学Ⅰ、Ⅱ、A、Bの各分野から満遍なく出題した。

### 【学習のポイント】

- 教科書の内容を徹底的に学習し、基礎・基本を身に付けることが何より重要である。併せて、発展問題にも挑戦することで、思考力や洞察力を養うことが大切である。
- 定義や公式の単純な適用では解けないような複雑な問題に対応するためには、定義や公式を単純に暗記するだけでなく、それらの意味や導出過程、構造を深く理解することが大切である。
- 文章の読解力や表現力といった国語力を高める必要がある。大問Ⅱでは長い文章を丁寧に読み解く力が、大問Ⅲでは解答のプロセスを論理的に記述する力が試される。普段から新聞や書籍を読み、論理的な文章を書く訓練を日々繰り返すことが肝要である。
- 社会的な様々な問題を数学的に表現することで、問題の本質を抽象化し、洞察し、考える問題を大問Ⅱでは出題している。社会問題にも関心を持ち、それについて考える習慣を持ち、幅広い教養を身につけることは、どの教科においても大切である。
- 文字を丁寧に正確に書くことを習慣づける。一般に答案とは、採点する人に、自分の思考過程やその結果を評価してもらうものである。